

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市営駐車場施設管理事業							担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	都市政策課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	政策推進係			
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		21 市街地整備		1 鉄道駅周辺の都市機能を強化します					
		副目的										
	予算区分	款	8	項	4	目	3	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画	駐車場法、道路法、道路整備特別措置法										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市営駐車場4箇所の使用料収納、設備機器の保守管理・修繕等を行い、施設の利便性の向上や路上駐車未防止を行う。										
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 ラピオ地下駐車場、小牧駅西駐車場、浦田駐車場、小牧駅地下駐車場について、効率的な駐車場運営を実施するため、ラピオを管理している小牧都市開発(株)に管理委託をした。また、運営時間外については、警備委託を行った。 設備機器の修繕(小牧駅地下駐車場の汚水ポンプ、車路等の防水等)を行った。 駐車券の印刷を行った。(小牧駅西駐車場378,000枚、ラピオ地下駐車場728,000枚、小牧駅地下駐車場112,000枚、浦田駐車場56,000枚)</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 使用料等(321千円)、印刷製本費(5,707千円)、修繕料(1,664千円) 管理委託料(122,805千円)、ラピオ設備修繕負担金(18,653千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 使用料等(239千円)、印刷製本費(4,400千円)、修繕料(1,775千円) 管理委託料(128,334千円)、ラピオ設備修繕負担金(13,025千円)</p>										
	受益者負担	有 30分100円、24時間最大1,000円(ただし、最初の30分無料)										

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額	
コスト	費用	直接経費	千円	132,466	136,747	149,150	147,773
	正職員	従事者数	人	0.70	0.50	0.50	0.50
		人件費	千円	3,682	2,630	2,630	2,630
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	136,148	139,377	151,780	150,403
対前年比		%		102.3	108.8	99.0	
財源	一般財源	千円	26,775	23,060	33,578	71,311	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	109,373	116,317	118,202	79,092	

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	収容(能力)台数	台	目標	845	845	845	845
			実績	845	845	845	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
年間駐車場利用台数 ※H22から駅地下を算入	千台	目標	970	941	938	939	
		実績	941	938	939		
路上駐車台数 (年4回、1時間調査の平均)		目標	17	17	16	16	
		実績	17	16	16		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	小牧都市開発㈱に市営駐車場の管理を委託し、入出庫管理及び料金徴収等を実施した。 また、設備機器の適正な維持管理に努め、必要な修繕を行った。 年間駐車場利用台数は、前年とほぼ同数を維持できた。	
	事業実施における課題	施設のPRや利用サービスの向上などを行い、駐車場の利用促進を図る必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	交通利便性が低下することにより、商業施設であるラピオの集客力が低下し、中心市街地の衰退に発展する可能性がある。 さらには、中心市街地の路上駐車が増加する恐れがある。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 駐車場の利便性向上及び利用促進を図り、中心市街地の活性化につなげるために、平成26年7月1日から小牧駅西駐車場、ラピオ地下駐車場、浦田駐車場の無料時間を60分に延長する。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの (対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	中心市街地の活性化及び路上駐車抑制を図り、継続して事業を実施する必要があるため。	
	27年度以降の改善案	A街区に新図書館が建設されることとなり、小牧駅西駐車場(収容台数130台)が滅失するため、駅周辺での駐車場需給バランスを検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。